**「おもいっこ☆あい　茶話会」　2023.11.11**

会場：コミュニティセンターきたの　（野洲市）

　　本年度の新企画「おもいっこ☆あい」第２回目の活動として、６家族（父母ペア参加４家族を含む）計１０名の会員が参加のもと、対面による茶話会を開催しました。

　今回も１回目と同様、テーマを定めず、各ご家族のお子さんの日々の様子・困り事などを話す茶話会形式で行ないました。

　参加された方のお子さんは、学齢期の中学生から成人期の方また４０代の方までと幅広い年齢層となりました。

　話の中心は、まだ手の掛かることが多い学齢期および成人期初期のお子さんの日々の困り事についてでした。各ご家族で共通する部分も多く、参加者同士それぞれの考え方や、問題行動への対処方法などを出し合いました。

　今年春に高校を卒業し、作業所に通い始めたお子さんは、学校に行っている間は手が掛かり、作業所に受け入れてもらえるのだろうかと心配事も多かったようですが、いざ通い始めるとそれなりに順応できており、毎日楽しく作業や余暇を楽しんでいるとのことでした。これから進学や作業所通所を控えている中学生や高校生の親御さんもその話を聞いて、幾分かの不安感をぬぐえたかと思われます。

　ほかには、きょうだいについても話題となりました。１０代の若い頃は、障がいのある兄弟や親に反発する言動・行動が多くみられるものの、思いやる心も持っており、成人（大人）になるにしたがって、態度にも思いやる姿がみえてくるということで、親としてはきょうだいへの気配りも大切であることを知るいい機会となりました。

お子さんそれぞれの特性が異なるため、特定のお子さんの対処方法が他のお子さんにも有効であるかは不明ですが、自分の家庭の困り事を話して、他の親御さんに共感してもらえる、認めてもらえるという安心感を得られたということが、今回特に感じられたことでした。また、同じ困り事でも、お父さんの視点、お母さんの視点で異なる場合もみられ、興味深く感じられました。

　今回もあっという間に予定の２時間が過ぎました。終了後も名残惜しく、会場の外で立ち話されている光景もみられました。　来年度も引き続き「おもいっこ☆あい」の活動を継続していく予定です。　ご参加いただければ嬉しく思います。

＜参加者感想＞

* 本日はありがとうございました。うちの子と同じ年代のお子さんの話しが多く、日々の様子やその解決策を知ることができ大変参考になりました。新しい環境への対応は、案外子どもの持っている可能性は大きく、親が心配し過ぎているのかもしれないなあ、と感じました。今後も色々なことにチャレンジさせていこうと思います。やはり対面での話し合いはいいなあと感じました。次回も是非参加したいと思います。
* ２年後には作業所も決めないといけないので不安だらけですが、　今日はいろんな話を聞けて有難かったです。
* 非常に参考になることが多かったです。ありがとうございました。少しずつ変化を楽しむぐらいの気持ちでいられるようにしたいと、改めて思いました。
* うちにも同じようなことが起こっていると感じる話しが多くありました。今日は、“そうそう”と分かってもらえたり分かったりして、一生懸命子育てしても上手くいかない日々を送っていますが、心が軽くなって自宅へ帰れました。　自閉症協会以外の場所では、子どもの事を上手く説明することも難しいです。
* 皆さんの子どもさんの話しがとても参考になりました。これからもマイペースで子どもと向き合っていこうと思います。
* 持ちよりのお菓子とお茶でほっこりしながらの茶話会は、子どもの小さい時の出来事を思い出したり、今でも起こっている我が家の状況と重なったりすることを感じながら皆さんのお話しを聞かせていただきました。　参加できて良かったと思えた茶話会でした。